未来洗浄研究会セミナー

未来洗浄研究会
Future of Washing Initiative

サステナブルな洗濯を考える（７）
～生活廃水の視点から

主催：Future Earth、花王株式会社
協力：東京大学未来ビジョン研究センター、北海道大学環境健康科学研究教育センター

開会挨拶・趣旨説明

Future Earth・長崎大学　春日文子

2023年4月12日

未来洗浄研究会とは

未来洗浄研究会
Future of Washing Initiative

「世界中の人々がサステナブルに清潔に快適に暮らせる社会」を目指して、
様々な産業や学問分野の人たち、消費者や若者、シニア世代が一緒に、
未来の洗濯や洗浄について、知恵を出し合い、議論・提案する場として、
2018年12月、発足しました。

futurearth
Research. Innovation. Sustainability.

kao
自然と調和する こころ豊かな毎日をめざして

東京大学未来ビジョン研究センター
Institute for Future Initiatives

未来洗浄研究会
Future of Washing Initiative

協力：北海道大学環境健康科学研究教育センター

Future Earth:持続可能な地球への転換に向け連携する、研究者、実務者、イノベーターによるグローバルな研究ネットワーク

使命:
研究と革新を通じて、グローバルな持続可能性への変革を加速すること

ビジョン:
人類が持続可能で衡平な世界で繁栄する

- 地球環境変化の課題を解決するためには、単一分野の研究だけでなく、複雑な地球システムと人間社会のダイナミクスの統合的理解が不可欠
- さらに、科学と社会との協働が必要
- 持続可能な発展にむけ、エビデンスに基づいた政策と戦略を支える

様々な世界のステークホルダーと、オフィシャルパートナーとして連携

ステークホルダーとの対話と広報活動

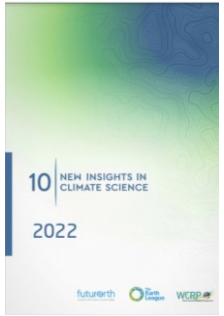
Anthropocene Magazine

SRI Congress

イオン未来の地球フォーラム

各種の統合レポート:科学と社会とのインターフェース

10 New Insights in Climate Science
気候変動について今伝えたい、10の重要なメッセージ



Risk Perception Report

未来洗浄研究会 Future of Washing Initiative

futurearth Research. Innovation. Sustainability.

kao 自然と調和する こころ豊かな毎日をめざして

東京大学未来ビジョン研究センター Institute for Future Initiatives

未来洗浄研究会
Future of Washing Initiative

TOP
研究会の概要
イベント
情報発信
メール配信をご希望の方
お問い合わせ

■TOP

futurearth
research. innovation. sustainability.

東京大学未来ビジョン研究センター
Institute for Future Initiatives

kao
自然と調和する こころ豊かな毎日をめざして

未来洗浄研究会

未来洗浄研究会は、「世界中の人々がサステナブルに清潔に快適に暮らせ
ざして、事業領域や学問領域の枠を超え、産学公民等のさまざまな知恵を
の洗濯や洗浄について、議論や提案をしていく場です。

新着情報

ホームページ

未来洗浄研究会
Future of Washing Initiative

2020.08.04

vol.15 洗濯で使うエネルギーを減らすには？

7月に日本政府が、二酸化炭素の排出が多い古い石炭火力発電所による...

続きを読む

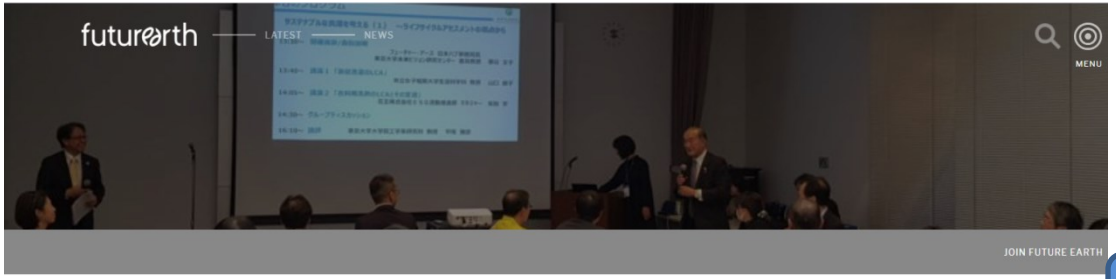
- back number -

vol.14 洗濯機から見る私たちの生活

vol.13 洗濯洗剤とライフスタイル

vol.12「洗う」という言葉の意味と歴史的背景

ブログ



国際発信

Future of Washing Initiative Discusses Life Cycle Assessment of Clothes Washing

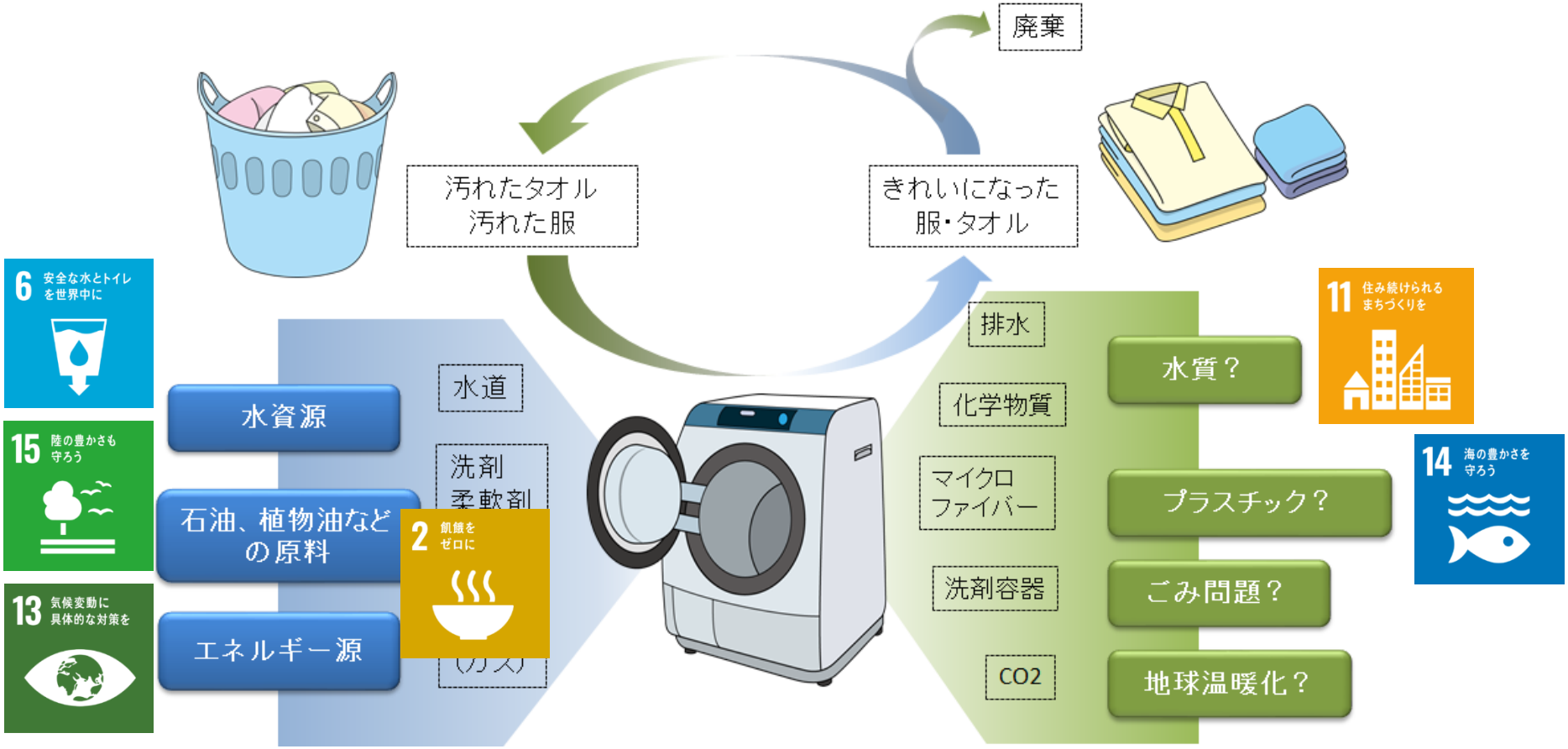
The Future of Washing Initiative (Initiative) hosted a seminar on sustainable washing and Life Cycle Assessment (LCA) on 5 December 2019, in Tokyo, Japan. The Initiative was launched in 2018 and was co-developed by Kao Corporation, The University of Tokyo Institute for Future Initiatives and Future Earth. About 40 participants from the private sector – including machine, detergent, cloth industries-, research

DATE
December 27, 2019

AUTHOR
Kyoko Shiota MacAulay

洗たくに関する課題①　環境影響

未来洗浄研究会
Future of Washing Initiative



洗たくに関する課題②　社会環境やその変化の視点から

未来洗浄研究会
Future of Washing Initiative

現在

清潔を求めすぎる日本人？

洗い過ぎ？
- 洗濯機大型化
- 洗剤コンパクト化
- 香りづけ

一人暮らし世帯　34.5%

超高齢社会
65才以上　26.6%
70才以上　19.0%
（2015年　国勢調査）

技術 →

ビジネスモデル →

人／社会 →

未来

余剰時間の行方

AI・自動化　さらに洗い過ぎになる？ 最適化？

外注の拡大　個人情報リスク？ 病原菌拡散リスクup？

超高齢社会　洗濯家事の負担感は？

多文化の混合

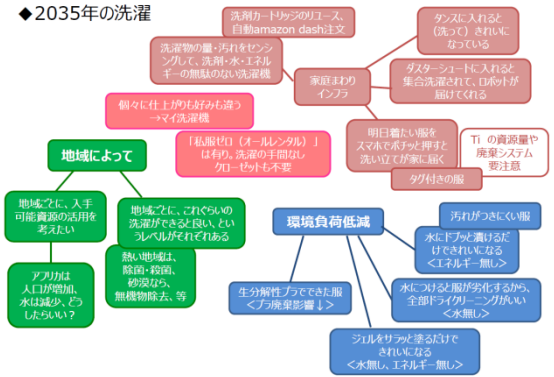
企業の姿勢　安売り／短期的な利益 → エシカル／社会課題解決

消費者啓発 → → → （やり続ける必要）

ワークショップやグループインタビュー

未来洗浄研究会
Future of Washing Initiative

第１回　未来の洗濯を考えてみる会
＜2018.6　参加者　14名＞

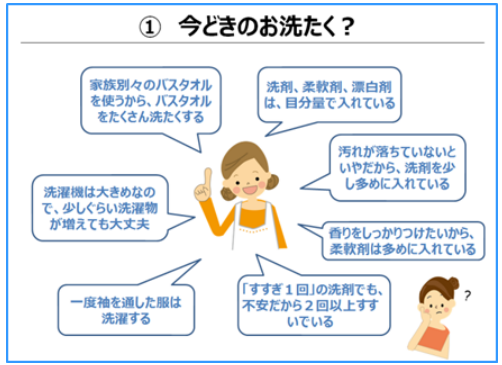


第２回　未来の洗濯を考えてみる会　～専門家編～
＜2018.8　参加者　16名＞

グループインタビュー　＜2018.11＞

Aグループ：30-44才　専業主婦　子ども有り　6名
Bグループ：30-44才　フルタイム　既婚 6名

内容：
1．普段の洗濯について思っていること
2．呈示物①＜今どきのお洗たく？＞について思うこと
3．呈示物②＜お洗たく　×　環境問題？＞を見て思うこと、
　　家庭で工夫できそうなこと、メーカー・お店・行政にやってほしいこと
4．環境・エコも少し考えながら「20年後の理想のお洗濯」とは



2018年12月7日、エコプロ2018　東京ビッグサイト

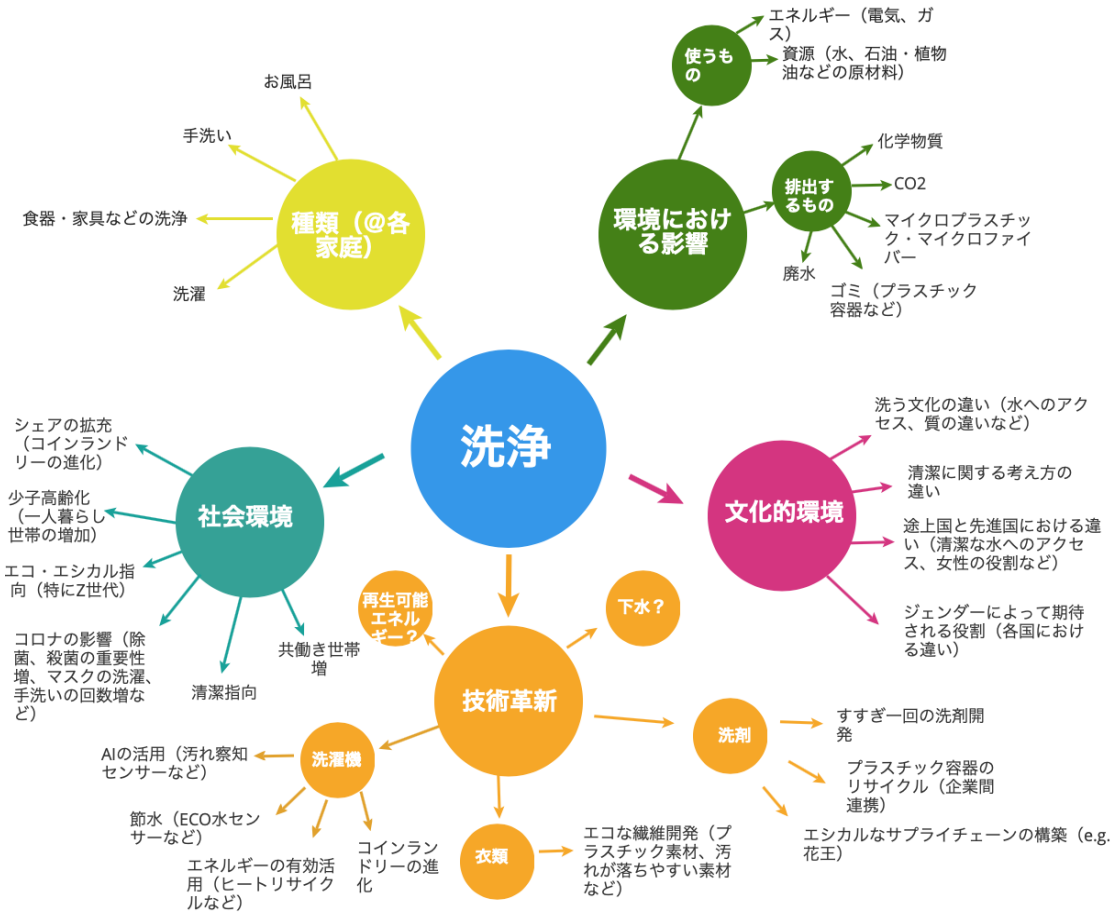
未来洗浄研究会　設立記念フォーラム

～みんなで考えよう！未来のサステナブルな洗濯～

未来洗浄研究会
Future of Washing Initiative

洗浄を様々な視点から考える

未来洗浄研究会
Future of Washing Initiative



サステナブルな洗濯を考える

第1回 (2019.12)　ライフサイクルアセスメントの視点から

第2回 (2020.9)　水とエネルギーの視点から

第3回 (2020.12)　衣類や繊維の視点から

第4回 (2021.5)　洗剤の視点から

第5回 (2021.6)　洗剤の容器の視点から

第5回 (2022.2.15)　衛生・清潔の視点から

本日のテーマ：サステナブルな洗濯を考える　ー生活廃水の視点から

未来洗浄研究会
Future of Washing Initiative

3 すべての人に健康と福祉を

3-9　2030年までに、有害な化学物質や、大気・水・土壌の汚染が原因で起こる死亡や病気を大きく減らす。

6 安全な水とトイレを世界中に

6-2　2030年までに、汚染を減らす、ゴミが捨てられないようにする、有害な化学物質が流れ込むことを最低限にする、処理しないまま流す排水を半分に減らす、世界中で水の安全な再利用を大きく増やすなどの取り組みによって、水質を改善する。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

9-4　2030年までに、資源をよりむだなく使えるようにし、環境にやさしい技術や生産の方法をより多く取り入れて、インフラや産業を持続可能なものにする。すべての国が、それぞれの能力に応じて、これに取り組む。

11 住み続けられるまちづくりを

11-6　2030年までに、大気の質やごみの処理などに特に注意をはらうなどして、都市に住む人（一人当たり）が環境に与える影響を減らす。

12 つくる責任 つかう責任

12-4　2020年までに、国際的な取り決めにしたがって、化学物質やあらゆる廃棄物（ごみ）を環境に害を与えないように管理できるようにする。人の健康や自然環境に与える悪い影響をできるかぎり小さくするために、大気、水、土壌へ化学物質やごみが出されることを大きく減らす。

14 海の豊かさを守ろう

14-1　2025年までに、海洋ごみや富栄養化※など、特に陸上の人間の活動によるものをふくめ、あらゆる海の汚染をふせぎ、大きく減らす。

15 陸の豊かさも守ろう

15-1　2020年までに国際的な協定にしたがって、森林、湿地、山地、乾燥地など陸上の生態系と、内陸の淡水地域の生態系、および、それらがもたらす自然の恵みを、守り、回復させ、持続可能な形で利用できるようにする。

未来洗浄研究会
Future of Washing Initiative

サステナブルな洗濯を考える（７）～生活廃水の視点から

講演1「給水と排水をあらためて考える」

アクアスフィア・水教育研究所、武蔵野大学客員教授

橋本 淳司様

講演2「開発途上国における水事情と地域の課題に対する人びとの実践：サブサハラアフリカ農村でのケーススタディより」

札幌国際大学観光学部観光ビジネス学科
学科長 教授

池見 真由様

講演３「小規模分散型水循環システム」で世界の水問題を解決する

WOTA株式会社　代表取締役 CEO

前田 瑶介様

パネルディスカッション：「サステナブルな洗濯を考える～生活廃水の視点から」